

|                               |                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月27日<br>(日)<br><br>ヨハネ<br>6章 | 「そこで彼らは言った、『それでは、わたしたちが見てあなたを信じることができるように、どんなしるしを行ってくださいますか。どのようなことをしてくださいますか。』(30節)わたしたちが神の業を行うためにすべきことはただ一つ。「神がお遣わしになったものを信じること」。しかし、イエスが行われた数々のことを見聞きした人々は「信じること」ができなかった。 |
| 28日<br>(月)<br><br>ヨハネ<br>7章   | 「『公に知られようとしながら、ひそかに行動するような人はいない。こういうことをしているからには、自分を世にはっきり示しなさい。』兄弟たちも、イエスを信じていなかったのである。』(4・5節)。生まれ育った地で、主の業を行えなかったイエス様。共に育った兄弟たちすら自分を信じていないことを、人として歩まれたイエス様はどのように受け止めただろうか。  |
| 29日<br>(火)<br><br>ヨハネ<br>8章   | 「イエスは御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。『わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする』(31・32節)。主イエス・キリストを信じ、主のみ言葉にとどまって真理を知り、臆することなく『然り、然り』『否、否』と言うことができる真に自由な者となることを祈り求める。  |
| 30日<br>(水)<br><br>ヨハネ<br>9章   | 「神は罪人の言うことはお聞きにならないと、わたしたちは承知しています。しかし、神をあがめ、その御心を行う人の言うことは、お聞きになります。…あの方が神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならなかったはずです」(31・33節)。自らを誇る心は、生まれつき目が見えず、物乞いをしていた人の語る正しい神理解を認めることができなかった。     |

聖書日課 『からし種』 2025.4.27-5.4

|                               |                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月1日<br>(木)<br><br>ヨハネ<br>10章 | 「わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる」(16節)。囲いから遠く離れた場所で迷う多くの羊たちにも、イエス様の声は届いたが、欠けの多い羊たちが一つの群れとなって、平和な主の御国をつくり上げることの難しさ。      |
| 2日<br>(金)<br><br>ヨハネ<br>11章   | 「わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしをお遣わしになったことを、彼らに信じさせるためです」(42節)。人々は、明らかなしるしを見ることなく、言葉だけでは信じることができない塞がれた耳と心を持っていることを、イエス様ご自身がよく分かっていらした。 |
| 3日<br>(土)<br><br>ヨハネ<br>12章   | 「とはいえ、議員の中にもイエスを信じる者は多かった。…ファリサイ派の人々をはばかりて公に言い表さなかった。彼らは、神からの誉れよりも、人間からの誉れの方を好んだのである」(42・43節)。今、目の前にあるこの世の誉れ、人々の賞賛に魅かれ、つい選び取ってしまう弱さ。主よ、永遠に変わることのない神の誉れの豊かさを選び取る者としてください。    |
| 4日<br>(日)<br><br>ヨハネ<br>13章   | 「(イエスは)立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた」(5節)。わたしの目の前にひざまずき、足を洗い、手ぬぐいでふいてくださっている主イエスの姿が見えているだろうか。この方の祈りで私たちは今日も「キリストのからだ」として建てられている。   |